

# 公民館訪問NEWS

右の二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます。→



## 只見公民館

## ～ つる細工講座 ～

2月19日(水)、只見公民館で行われた「つる細工講座」を訪問しました。この講座は、只見民芸品保存会を中心に毎年冬季に開催されています。保存会代表代理の鈴木さんに話を伺うと、「今年度は1月8日の開校式をスタートに毎週水曜日に活動をしており、この日が7回目になります。ベテランの方だけでなく、今年初めて参加された方も数名います。作る物は飾り等もありますが、主にかごやざる、菓子皿など生活に使う物が多いです。」と話してくださいました。只見弁と笑顔に包まれる温かな雰囲気の中、楽しそうにつる細工に取り組む皆さんの姿がありました。

### <只見民芸品保存会>

永年にわたりつる細工に取り組んできた町民を中心に、つる細工の技術と伝統を伝え残すために結成された。毎年、冬期間に開く講習会では、ベテランから初心者まで和気あいあいと研鑽を積んでいる。



保存会代表代理の鈴木さんとパンフレット



くるみの皮を編み込む梁取さん



ベテラン会員のサポート



足で押さえるこの形が基本



会話にも花が咲きます

### <受講者の感想>

ずっとやりたいと思っていたのですが、仕事があったのでできず、今年初めて受講しました。アケビつるでかごを作っています。完成したら自分で使うつもりです。

つる細工のよさは材料費がかからないことにもあります。自然素材なので欲しい材料は山にあります。山からいただき、いずれは山に返す。SDGsですね。  
(受講者 渡部さん)



約10名の方が受講されました

アケビとウワミズクラ、マタタビを組み合わせて…。内側には布も縫い込まれています。こんなにステキなかごが、もうすぐ完成です。



完成した作品は、文化祭や雪まつりの開催時に会場で展示・販売も行っているそうです。参加者の中には自身の作品が雪まつり会場で売れて、新たに予約を受けた物を作っている方もいました。制作する楽しみだけでなく、自分の作った物を喜んで買ってくれる方がいる・自分の作品のファンがいるということも意欲の向上に繋がっていると感じました。只見民芸品保存会パンフレットに記載されていた「素材のぬくもりが手によくなじむ。手作りの様々なかごは 日々の暮らしにうるおいを与えてくれるもの。大切に守り続けたい — つる細工」のメッセージが心に響きました。